

People



たんぼの会 会長
川淵 広美 さん (48歳・遠敷六丁目)

10年ほど前に、母と子の家を利用する家族が、卒園後も交流できる機会を作りたいと、会を立ち上げました。

子どもの発達や子育てについて悩んでいても、市役所の窓口へ行って自分から聞くということは、できない人のほうが多いのではないのでしょうか。一方で、悩みを持っている人は年々増えてきているとも聞きます。

母と子の家では、専門家によるアドバイスやリハビリが受けられますし、同じ悩みを抱える親同士が交流することで、情報交換や安心にもつながります。

家族の理解や周囲の目など、施設を利用したくても利用できない人もいます。でも、相談や支援は早ければ早いだけいいので、子どものために一歩踏み出す勇氣を持つてほしいです。

支援や施設の体制など、嶺北との格差も正直まだまだあると思います。私たちも県へ視察や要望に行き、子どもたちを取り巻く環境改善に取り組んできました。少しずつでも良くしていくために、行政だけに任せるのではなく、家族が「こうしてほしい」という声を挙げ、届けることが大切だと感じています。

ひとりで悩みを抱えずに 一歩踏み出す勇氣を

小浜市母と子の家 児童発達支援センター **CokoUta** ここうた



子どもの発達や子育ての悩みについて、一人で抱えていませんか？気になることを誰でも気軽に相談でき、サポートを受けられる。それが「CokoUta」です。

■問い合わせ 母と子の家「CokoUta」 ☎ 53・2603



ココウタを 知ろう！ 利用しよう

どこが運営しているの？
市の施設で、平成29年度から「有限会社ふらむはあとリハビリねつと」が指定管理を受けて運営。施設もリニューアルされました。

何歳までの子どもが対象？
就学前の子どもが対象です。4歳児までを対象にした「乳幼児療育」と、5歳児を対象にした「就学前療育」の支援があります。保育園に通いながらの利用もできます。

支援の内容を教えてください
子どもの特性に合わせて、日常生活における基本動作の習得や集団生活への適応トレーニング遊びや活動を通じて行います。

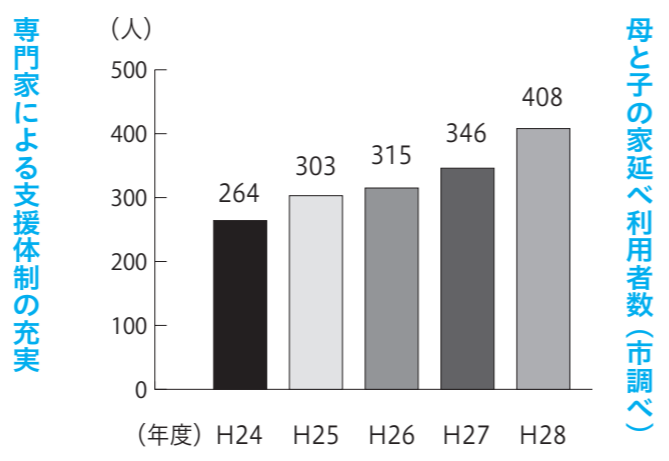
どんな専門職がいるの？
子どもの理解や成長を促す、作業療法士(日常動作)、言語聴覚士(ことば)、管理栄養士(食事)などと保育士がバックアップします。

こころが奏でる詩を こころを研ぎ澄ませて感じたい「CokoUta」

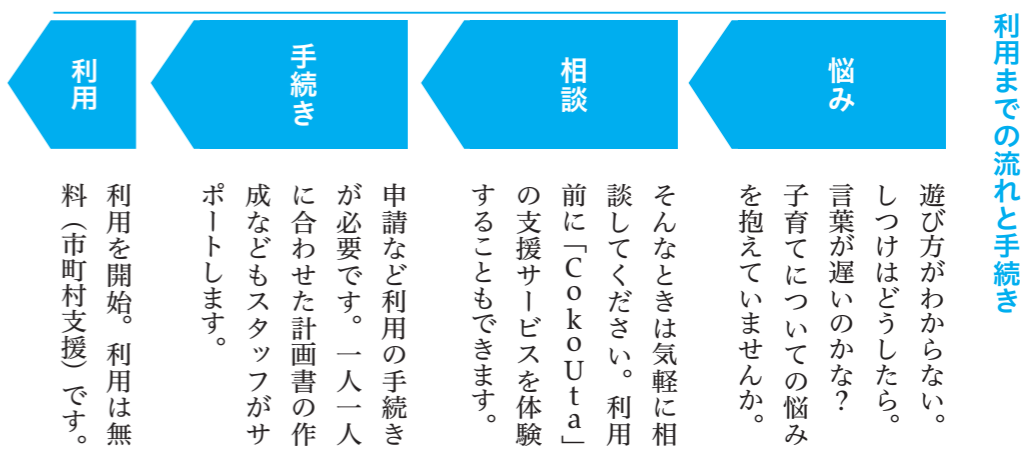
市では、平成23年に「小浜市の総合的な発達障がい者支援計画」を策定。専門委員会を設置するとともに、福祉・教育・労働など各支援機関と連携を図ってきました。本年度からは、庁内にも臨床心理士を置き、より充実した支援体制を構築していきます。

また、平成30年度から「CokoUta」において、「放課後等デイサービス事業」を実施予定。放課後等支援体制の整備に向けて準備を進めています。

※P17にも小浜市発達障がい者支援専門委員会委員長のインタビューを掲載しています



専門家による支援体制の充実



母と子の家「CokoUta」
小浜市後瀬町1-5
電話 53・2603
FAX 64・5150
cokouta@cpost.plala.or.jp

個性を伸ばすお手伝いを

当センターは、親子で通園していただき、小集団での遊びを通して、ことは、やりとりする力の習得、身の回りの動作の自立などを促していきます。

さらに、「作る」「表現する」といったことを体験し、楽しいことや、やってみるの個性を伸ばすお手伝いをします。

スタッフは子育て世代が中心です。一人一人の特性に応じた関わり方を一緒に学び、子育ての難しさや楽しさを共感し、共に育ち合える場になっていけたらと思います。

まずは、気軽にご相談いただき、見学にお越しください。

母と子の家「CokoUta」
和田 賢 保育士(36歳)

そのほかの相談や支援

ごはんを食べてくれない、寝てくれない、言葉が心配など、子育てで困っていることはありませんか？

市では、母と子の家「CokoUta」以外にも相談窓口を設け、支援に取り組んでいます。

【子育て支援センター】
子どもと遊びながら、気になることや発達について相談できる「なかよしタイム」を毎月実施しています。

【健康管理センター】
親子遊びや自由遊びと共に、子育てについて相談できる「あそびの教室 ひだまり」を毎月実施しています。

問い合わせ ☎ 52・2222

※どちらも当日参加はできません。まずは相談してください